

「茨城ベンチャーフレンドリー宣言」発出式_開催結果

このたび、ベンチャー企業の成長を官民一丸となって促進するため、**茨城県横山副知事**及び**茨城県経営者協会の笹島会長**の出席のもと、「**茨城ベンチャーフレンドリー宣言**」**発出式**を下記のとおり開催しましたので、お知らせいたします。

記

「茨城ベンチャーフレンドリー宣言」発出式

- (1) 日時 2024年2月29日(木) 10:15~10:30
- (2) 会場 県庁11階アトリウム
- (3) 形式 **横山副知事と県経営者協会の笹島会長**にて宣言発出
- (4) 主旨
 - ・官民一丸となって、ベンチャー企業の成長を加速化。
 - ・ベンチャー企業とともに成長していく環境構築を目指す。
- (5) 今後
 - ・県：県内ベンチャー企業に特化した公共調達制度の創設
 - ・協会：ベンチャー企業との交流の場の創出、事業での連携促進
- (6) 次第
 - ・挨拶 茨城県：横山副知事
(一社)茨城県経営者協会：笹島会長
 - ・宣言発出、記念撮影
- (7) 挨拶

➤ 横山副知事

- ・ベンチャー企業がスピード感を持って成長できる環境を構築していくため、経営者協会とともに、「茨城ベンチャーフレンドリー宣言」を発出。
- ・県は、県民生活の利便性向上などが期待される新たな製品やサービスを提供する県内ベンチャー企業を「優良商品等創出事業者」として認定し、随意契約で導入できる制度を創設。
- ・経営者協会には、設立から間もない企業からの相談でも積極的に対応いただき、産業創出のパートナーとして迎え入れ、共に成長を目指す連携を期待。

➤ 笹島会長（県経営者協会）

- ・経済界にとっても、新たなビジネスに挑戦するベンチャー企業を産業創出のパートナーとして迎え、共に成長していくことが必要。
- ・今後、経営者協会では、会員企業とベンチャー企業の交流の場を創出し、対話が続く環境を構築。
- ・新しい事業の育成の観点でも、ベンチャー企業と連携し、共に成長しながら、地域経済の発展に寄与すべく取り組んで参りたい。

下記資料は別添を参照ください。

- ・茨城ベンチャーフレンドリー宣言概要
- ・茨城ベンチャーフレンドリー宣言書
- ・記念撮影（写真）

■お問い合わせ

茨城県産業戦略部 技術振興局
技術革新課 イノベーション創出G
担当：大森、木野内（TEL 029-301-3522）

課題 ベンチャー企業の製品・サービスについて、官民どちらの市場へも導入がなかなか進まない。

ベンチャー企業の主な声

- ・実績がないため**門前払い**となるケースも。特に大手とは直接取引が困難。
- ・将来の顧客候補となる企業や経営陣から**アドバイスや意見をもらえるだけでも事業開発の上で有難い**。
- ・**行政からの公認や調達実績は非常に強い追い風**になる。



茨城経協



経営者協会とともに**ベンチャーフレンドリー宣言**を発出

ベンチャー企業がスピード感を持って成長できる環境づくりへ



産業界 門前払いの払拭

- ベンチャー企業の支援機関や会員企業と連携した**交流会、マッチング等**を予定

ベンチャー企業の成長を地域で加速化

市場への普及拡大

会員企業からの声

- ・人材不足、DXなどの重要課題の解決には様々なベンチャー企業との連携が必要
- ・オープンイノベーション、新たな事業推進に向けて、ぜひこの取組に参加したい
- ・学生・若手起業家の考えに高い関心がある 等

行政 県内ベンチャーに特化した公共調達

- 優れた製品・サービスを持つ県内ベンチャー企業を、**優良商品創出事業者**として認定



- **県の随意契約により普及**を促進
〔根拠法令 地方自治法施行令第167の2第1項第4号〕

- **導入促進に向けたアクション**
県イベントで紹介、県関係課とのマッチングなど



茨城ベンチャーフレンドリー宣言

The Declaration of StartUp Friendly Ibaraki



茨城経協

我々は、次代の挑戦者を歓迎し、イノベーションの原動力として、新しい未来に向けて飛躍することを目指す。

そのため、人口減少、気候変動、DXなど進展する地域課題・社会課題に挑むベンチャー企業に寄り添い、支援する、ベンチャーフレンドリーな地域であることをここに宣言する。

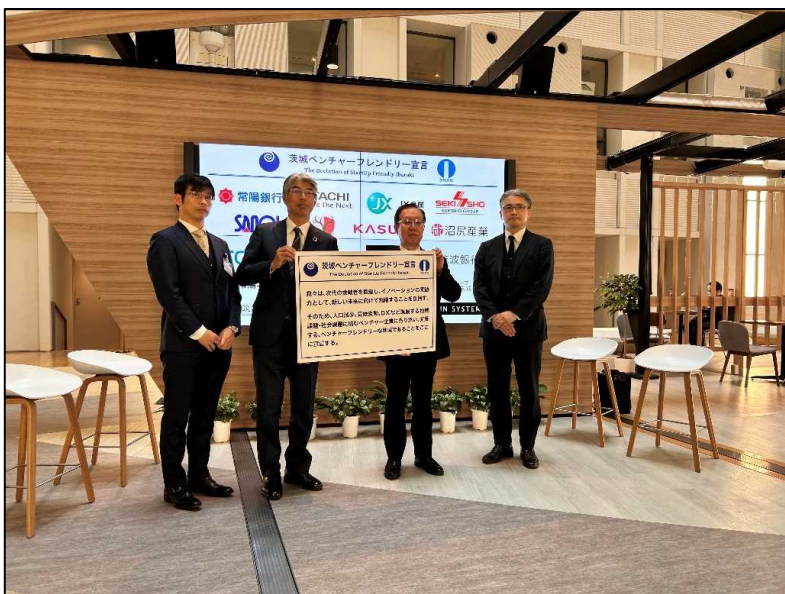
横山副知事挨拶



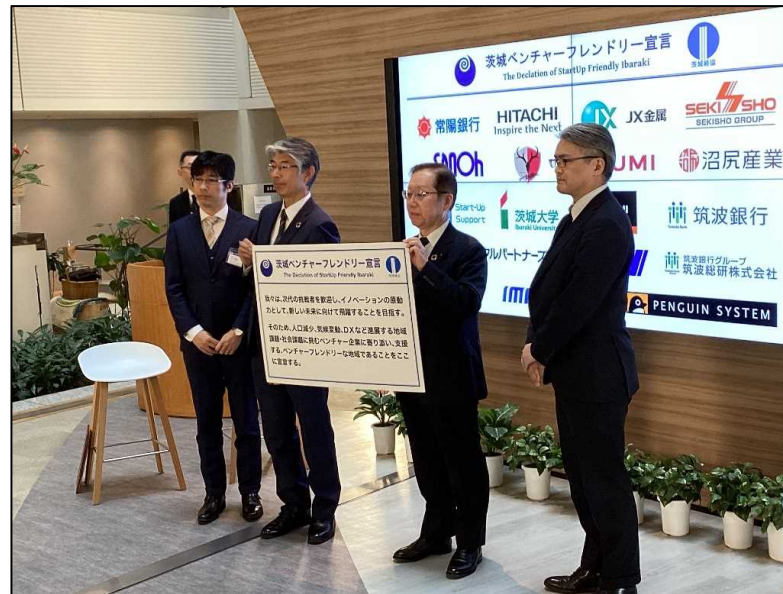
笹島会長挨拶



宣言書を持って記念撮影①



宣言書を持って記念撮影②



(左から、茨城県：大竹 産業戦略部長、横山 副知事、経営者協会：笹島会長、加藤総務企画担当部長)